

事業番号	04 07 03	事業改善シート (26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	高齢者社会参加促進事業 (人生二毛作社会推進事業)				担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト	5-3-2 雇用・社会参加促進プロジェクト			課・室	健康増進課		
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり			E-mail	kenko-zoshin@pref.nagano.lg.jp		
		2 高齢者の活躍の促進			実施期間	H26 ~		

1 事業の概要

目指す姿	シニア世代が、その培ってきた知識と経験を活かして、積極的に就業や社会参加を行うことのできる「人生二毛作」社会実現のための仕組みの構築を目指す。			
現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進む中で、高齢になっても、就業や社会活動を行うことで生きがいを持ち、健やかで幸せな暮らしを送れる社会づくりが求められている。 ・高齢者の社会参加については、平成25年度から人生二毛作推進県民会議で検討を行い、シニア世代と活動の場をつなぐコーディネーター等の必要性が論議された。 ・関係機関の一層の連携強化及び機能強化を図り、シニア世代の就業や社会活動などにつなげる仕組みづくりを進めることが必要である。 			
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】		
	県民との協働による実施： 実施中	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者社会参加促進事業補助金交付要綱 ・広域に連携体制を構築し、事業を実施していくためには、県の関与が必要である。 		
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・3圏域で高齢者の支援を行っている関係機関・団体の連携体制構築の準備を進める。 圏域でのネットワーク会議の開催 12回 (3圏域×4回) ・人生二毛作推進県民会議の開催: 2回 			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H26事業実績	
			(当初)	(決算)
高齢者社会参加促進事業補助金	補助金	シニア活動推進コーディネーターの配置、人生二毛作社会の仕組み構築 (関係機関・地域団体との連携強化、圏域内ネットワーク会議の開催)。〔県長寿社会開発センターへの補助〕		0
人生二毛作推進県民会議の開催	直接	725	343	0
タウンミーティングの開催	直接	0	0	0
人生二毛作推進事業補助金	補助金	地方創生先行型交付金を活用するため2月補正で予算化し、全額繰越とする。		0
	合計	15,896	14,192	0

事業コスト	区分 (単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				15,438
	当初予算			15,896	0
	補正予算			15,438	
	合計 (A)	0	0	31,334	15,438
	一般財源			15,896	
	県債				
	国庫支出金			15,438	15,438
	その他	0	0	0	0
	決算額 (B)			14,192	
概算人件費			0.80	0.80	
概算人件費 (C)	0	0	6,606	6,606	
概算事業費 (B+A+C)	0	0	20,798	22,044	

成果目標の達成状況					
項目	H25末 (実績)	H26			H27 目標
		目標	成果	達成状況	
ネットワーク会議の開催	-	12回	14回	達成	12回
人生二毛作推進県民会議の開催回数	4回	2回	2回	達成	-
コーディネーター相談対応件数	-	-	-	-	1500件

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア活動推進コーディネーター配置地域において、連携体制構築のための社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係機関によるネットワーク会議が定期的開催されることになり、目標を達成できた。 ・人生二毛作推進県民会議は目標どおり2回開催した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	引き続き、3名のシニア活動推進コーディネーターを配置し、ネットワーク会議開催等により地域における関係機関の更なる連携・機能の強化を図るとともに、高齢者の知識、経験などを活かせる場(機会)の提案、社会参加活動へのマッチングを行う。また、人生二毛作推進県民会議などにより、コーディネート活動に関する情報共有や検証など全県的な人生二毛作の仕組み推進のための検討を行う。